

事業概要：デジタル技術活用による食品産業振興加速化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	174,324千円 (53,831千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	県内食品事業者の所得向上が図られることで魅力的な雇用場が創出され、食品産業を起点に地域経済全体が発展し、本県における県政運営の基本指針「新秋田元気創造プラン」の最重要課題である「人口減少問題の克服」に寄与する将来像を目指すこと		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スタッフによる県内食品事業者及び商品に関する情報収集及び県内食品事業者、食品バイヤー及び消費者の情報を一元化するデータベースを構築する。 データベースを活用した情報発信やマッチング等を行うために食品バイヤーや消費者ニーズに関する情報収集などを行う。 デジタル技術を活用した経営規模拡大や生産性向上を目指す事業者に対して、賃金水準及び企業価値の向上等に資する取組経費を助成する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ①データベース構築（委託料）5,061千円、スタッフ配置（人件費）5,238千円 ②情報収集のための展示会等出展（委託費）16,629千円 ③事業者支援（補助金）20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内食料品製造業における新規雇用者数（+18人） ②データベースに登録した食品事業者数（+230件） ③デジタルを活用した生産性向上や事業規模拡大に繋がる事業者間連携数（+6件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824



事業概要：県内情報関連産業の競争力強化によるDX推進事業

旧制度（推進）

申請者	秋田県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	158,774千円 (29,418千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・県内企業への伴走支援と優良事例の横展開による県内産業のDX推進を図る。 ・DX推進に伴うデジタル需要の増大と県内ICT企業の競争力強化を図る。 ・県内ICT企業の競争力強化により賃金水準の向上と若者・女性の県内定着を図る。 ・県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発に繋げる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域密着型コミュニティによる伴走支援や優良事例の横展開を行うとともに、県内ICT企業の競争力強化に向けた経費補助等を実施することにより、DX推進と生産性向上を支援し、賃金水準の向上と若者・女性の県内定着、県内デジタル需要拡大の好循環誘発を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 中小企業のデジタル化からDXに向けた取組の支援 ・各種講習（謝金等）2,454千円 県内ICT企業を中核とした地域密着型コミュニティによる伴走支援と優良事例の横展開 ・伴走支援業務等（委託料等）14,220千円 県内ICT企業の競争力強化の支援 ・事業拡大に要する経費の補助（補助金）5,000千円 県内ICT企業による課題解決型の製品・サービスの開発支援 ・行政とのマッチング支援等（委託料）7,744千円		 DX戦略策定勉強会  行政とのマッチング支援 (DX展示会 NAMAHAExTECH)
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+250人） ②県内企業の経営課題等に対するICT利活用の割合（+10%） ③県内ICT企業における自社商品開発企業数（+11件） ④体験型交流イベントの参加団体数（+60団体）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824

事業概要：めざせ港の魅力向上！世界に選ばれる港づくり推進事業

継続

申請者	秋田県ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	831,553千円 (262,077千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・クルーズ船寄港の増加に伴って急増する外国人旅行者に対応するため、受入態勢を強化するとともに、付加価値の高い観光コンテンツを造成し、広く、県内にクルーズ船寄港による経済効果を波及させる。 ・港湾における脱炭素化の取組を推進し、実施体制を構築するとともに、長期的な取組の継続を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 1. 外国人旅行者の増加に対応するため、多言語による観光案内等の実施、人材育成により、受入環境の充実を図る。 2. より付加価値の高い商品を数多く造成することで、広く県内に寄港需要が波及し、地域経済の活性化に寄与する。 3. 脱炭素化に係る港周辺の企業との連携を図るほか、荷役機械等の施設の具体検討により、着実に脱炭素化を推進していく。視察受入等による新たな観光需要も醸成していく。 4. フェリー等において、陸上から海上へ輸送切替した企業への支援にインセンティブを新たに付与することにより、海上輸送への定着化を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 港周辺の付加価値の向上 ・受入人材の育成（委託費等）3,537千円 ・付加価値の向上及び受入態勢整備（負担金、補助金等）182,964千円 ・魅力ある港の情報発信（委託費等）29,187千円 港の脱炭素化の取組推進 ・脱炭素化取組推進（港湾施設調査研究等）（委託費等）40,873千円 ・モーダルシフトの促進等（補助金）4,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①秋田県における観光消費額（暦年、総額）（+240億円） ②クルーズ船寄港回数（+9回） ③カーボンニュートラル取組数（+6事業） ④洋上風力視察受入人数（+72人） ⑤フェリー貨物輸送量（+3,000台）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/archive/92824

※秋田県、秋田市、能代市、男鹿市の広域連携事業

事業概要：伝統工芸産地の魅力・デジタル発信力向上事業

継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,041千円 (9,179千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・産地の魅力やデジタル発信力の向上に取り組むことにより、新たな価値の創造や本県の伝統的工芸品等の魅力を幅広い層や地域に訴求させ、技術・技能の次世代への継承や産業の振興を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・工芸品に興味のある県内学生等を対象に、映像制作講師による撮影講座、実地での工房体験、訪問撮影、編集講座を実施し、工芸品の魅力をインスタントに伝えるショート動画を作り上げる。 ・伝統的工芸品の職人等を対象に、デジタル活用・情報発信力強化に資する講座を実施する。 ・現行のHP「手しごと秋田」について、時代に合わせた機能強化改修に向けた検討を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 県内学生と工芸品をつなぐ！映像制作インターンシップ事業 ・映像制作インターン実施（委託費） 3,547千円 産地等のデジタル人材育成！情報発信力強化セミナー事業 ・基礎～実践講座開催（委託費） 1,865千円 あきたの工芸品の魅力発信！プラットフォーム構築事業 ・HP「手しごと秋田」の機能強化改修（委託費） 3,767千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①国指定伝統的工芸品の生産額（+572百万円） ②あきたの伝統的工芸品サイトの年間アクセス数（+16,500件） ③県内工芸品関係事業者のSNS運用率（+33.2%） ④職人等を対象とした講座の平均参加者数（+20人） ⑤映像制作インターンシップによる制作映像数（+50本）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,281千円 (24,091千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	県内輸送機関連企業に対するソフト、ハード双方の各種支援を行い、新規参入や取引拡大、雇用の確保を強力に後押しすることによって、出荷額増加の上積みを図り、企業の魅力がアップさせることで人材確保が図られ、それにより研究体制が充実し、さらなる生産性の向上が図られるという好循環サイクルを生み出す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 ・県内企業の中核を担う人材を育成するため、有識者等を講師として品質管理、原価管理、問題解決の手法等のテーマを定めて連続講義を実施する。 ・新技術・新工法、試作品の製作などの県内企業等の研究開発を支援する。 ・Tier1企業等との取引を促進するため、ビジネスマッチングコーディネーターを配置し、商談等を支援する。また、県主催の発注説明会、個別商談会を開催し、県内企業のビジネスマッチングの場を提供する。 ・Tier1企業等との新規取引、取引拡大を要件として、生産性の向上につながる設備の導入を支援する。					【新規参入等への県内企業の課題とその解決領域】 ・ 人手不足、採用困難 → 人材の確保・育成 ・ 設備投資予算の不足 → 生産性の向上 ・ 技術開発を進める人と資金の不足 → 研究開発 ・ 自社技術の強み・弱みの分析が不十分 → 営業力の向上 新規取引拡大⇒売上UP 内訳01 人材の確保・育成支援事業 企業の中核人材育成研修会 内訳02 研究開発支援事業 研究開発支援 内訳03 営業力の向上支援事業 マッチングコーディネーターの配置 県主催の発注説明会、個別商談会の開催 内訳04 パワーアップ設備導入支援事業 新規取引拡大に伴う設備導入支援 好循環サイクル 競争力強化・魅力UP 人材の確保・育成 研究開発 生産性の向上 営業力の向上	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・企業の中核人材の育成（講師謝金、旅費）1,095千円 ・研究開発支援（補助金）2,500千円 ・ビジネスマッチングコーディネーターの配置（補助金）8,000千円 ・県主催の発注説明会、個別商談会の開催（需用費、使用料）496千円 ・新規取引拡大に伴う設備導入支援（補助金）12,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内輸送機産業の新規雇用者数（大卒、高卒）（+9人） ②県内輸送機関連企業の従業員1人当たりの生産額の増加率（+9%） ③県内輸送機関連企業の製造品出荷額（+210.87億円） ④8道県商談会における本県の出展企業数（+3社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824

事業概要： 若年女性が秋田で働き暮らす環境づくり促進事業

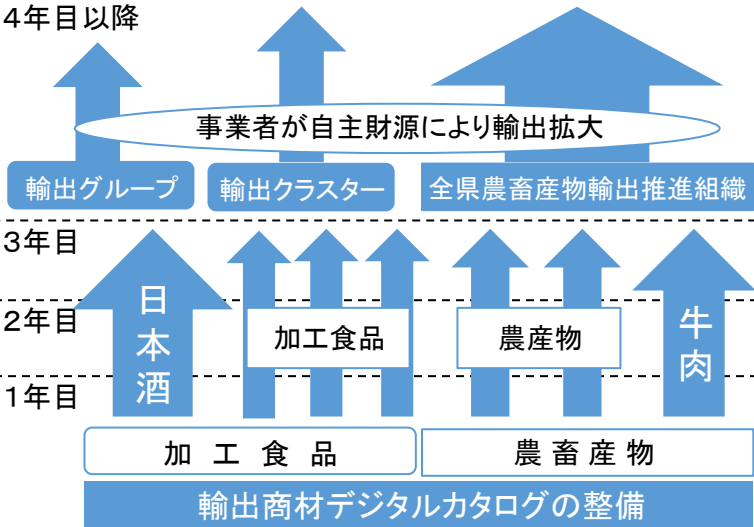
継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,827千円 (14,952千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若年女性等が、躊躇せず秋田県で働き暮らせるよう、県内企業の女性活躍推進に関する意識醸成や環境づくりによる取組の高度化及び地域におけるジェンダーギャップ解消やコミュニティ強化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	- 女性活躍の真の目的・必要性の理解促進を図り、それぞれの立場・視点による企業内での取組を促進させるため、県内企業を対象とした研修会を開催する。 - 誰もが自分らしく、今後も秋田で働き暮らし続けるため、依然として存在する性別役割分担意識等、ジェンダーギャップ解消に向けた取組を地域・企業において推進する。					 ➤ 県内企業を対象とした研修会の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 若年女性が秋田で働き暮らす社会づくり - 経営者等の理解促進のための支援（委託料）6,369千円 - ジェンダーギャップ解消に向けた取組（報償費）4,160千円						
主なKPI	①UIターン数（+100人） ②県内大学生等の県内就職率（+6%） ③支援を通じて「えるぼし」または「くるみん」の認定を受けた企業数（+24社） ④10～20代までの若者が差別的な言動を受けたと感じた者の割合（▲3%） ⑤社会活動・地域活動について取り組んだことがあると回答した若者世代（18～39歳）の割合（+4.5%） ⑥「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対する人の割合（+2.7%）					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	485,028千円 (152,316千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・冬季やグリーンシーズンといった観光閑散期における誘客拡大を軸に通年誘客を実現し、観光事業者の収益改善・経営安定化を図る。 ・特に観光消費単価の高い外国人観光客数の増加をととして、観光事業者の収益を改善する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客数が落ち込む閑散期の誘客促進に向け、魅力的なコンテンツの造成支援やプロモーションを行い、通年誘客の促進を図る。 また、日本へのリピート率が高い台湾を本県のインバウンド誘客の中心に据え、今後の安定的な需要の確保に向け、現地旅行会社や航空会社と連携したPRにより、台湾便の運航継続、定期便化を見据えた取組を強化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 観光閑散期におけるデジタルプロモーション関連経費（委託料）8,869千円 食を活用した誘客促進PR経費（委託料）4,510千円 アウトドアアクティビティ等コンテンツ造成支援・PR経費（委託料）12,595千円 台湾現地旅行会社等と連携したPR経費（委託料）69,923千円 台湾現地イベント等によるPR経費（委託料）43,025千円 セールス・SNS発信経費（委託料）7,399千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+240億円） ②閑散期の入込客数（+480万人） ③台湾人宿泊者数（+17,245人） ④台湾向けSNSアカウントフォロワー数（+10,800人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/archive/92824

事業概要：県産食品海外販路開拓事業

継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	158,316千円 (52,772千円)	
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・農畜産物・加工食品・日本酒といった秋田の食を官民一体で海外に売り込むことで、農業産出額・農畜産物輸出額・加工品輸出額を増加させる。 ・複数の加工食品の輸出グループや、農畜産物輸出に向けた全県域協議会等が組織され、事業者が自走的に海外販路拡大に取り組める輸出環境を整備する。 ・輸出機運の拡大により、新規に輸出に取り組む生産者や事業者を増やすことで、食品産業の裾野を拡大させる。 ・加工品と農畜産物の構造的な課題を克服することで生産者の稼ぐ力を高め、本県産業の振興や労働生産性、県民所得の向上を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまでの輸出の実績のある国・地域に対して農畜産物・加工食品・日本酒の商談会への出展やプロモーション等を実施し販路拡大を図るほか、今後、輸出増加が見込まれる国・地域に対しても市場調査やプロモーションを実施し認知度向上や販路開拓を目指す。 また、現地バイヤーを招へいし加工食品製造事業者等を視察・商談することで、新規商品の取り扱いや現地での消費拡大を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・台湾での加工品販路拡大事業（委託費）6,268千円 ・韓国での加工品販路拡大事業（委託費）1,370千円 ・香港での加工品販売拡大事業（委託費）5,527千円 ・シンガポールでの日本酒輸出拡大事業（委託費）5,700千円 ・地域G I 取得等に向けた取組支援（補助金）4,000千円 ・輸出業務伴走支援（委託費）6,600千円 ・台湾での農産物輸出拡大事業（委託費）4,725千円 ・タイ・マレーシアでの農産物輸出拡大事業（委託費）4,860千円 ・ベトナムでの秋田牛の販路開拓事業（委託費）1,785千円 ・シンガポールでの農産物輸出拡大事業（委託費）3,106千円							
主なKPI	①農業産出額（+103億円） ②農畜産物輸出額（+165百万円） ②加工品の輸出額（+251百万円） ④市場化した新規輸出向け商品数（+5件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824	
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：秋田米シェア拡大対策事業

継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	101,818千円 (44,282千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県産米のシェア拡大に向け、新たな需要を獲得するための取組等を行うとともに、センシング技術を活用した新たな生育診断技術による安定生産技術の確立を図る。 ・生産コストを抑えた米づくりにより価格競争力を高め、業務用や輸出用などの需要を獲得するとともに、生産者の所得確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県産米の需要拡大のため、県域集出荷団体や農業法人等が行う、海外における新たな販路の拡大に向けた取組を支援するほか、商談会を開催する。また、県産米の輸出拡大に向け、新規市場獲得に向けたテストマーケティングを実施する。 このほか、県産米の安定生産に向け、センシング技術を用いた水稻の生育状況の把握や新たな生育指標の作成に向けた検証を行うとともに、業務用米や輸出用米の需要の獲得に向け、省力・低コスト生産を推進するため、乾田直播栽培や複数の低コスト技術を組み合わせた栽培の実証を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 秋田米需要獲得支援事業 ・米の輸出拡大に向けて行う販路開拓活動を支援（補助金）12,000千円 ・取引拡大に向けた商談会の開催（委託費）9,088千円 ・新規ターゲット候補国でのテストマーケティング(委託費、需用費)6,443千円 新たな生育診断技術検証事業 ・NDVI（植生指数）を用いた水稻の生育状況の把握、生育指標の検証（需用費）485千円 超省力・低コスト技術確立事業 ・乾田直播栽培試験の実施（需用費、報償費、使用料等）2,733千円 ・高密度播種苗、疎植栽培、多収品種を組み合わせた実証試験の実施（需用費、報償費）504千円 ・栽培試験の実施に必要なとなる農業用機械の購入（備品費）13,029千円					 	
主なKPI	①農業産出額（+623億円） ②全国の米の需要量に占めるシェア（+0.55ポイント） ③輸出用米の作付面積（+577ha）					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/archive/92824
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：比内地鶏生産販売強化事業

継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,750千円 (2,250千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	変化する販売流通の課題に対応するため、県内事業者が行う新たな販売促進の取組を支援し、秋田が誇る特産品である比内地鶏ブランドの維持・強化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 比内地鶏の販売において現在課題とされている、①流通（リードタイムが伸びる）については消費期限等延長の取組、②アニマルウェルフェアの高まりについてはオス肉活用、③産地の良さが伝わっていないことについては産地招聘、④飲食向け等需要拡大への対応については新商品開発でそれぞれ対応し、その解決を図っていく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 新たな販売促進（消費期限延長、オス肉活用、産地招聘、新商品開発）への支援（補助金）2,250千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①比内地鶏の年間出荷額（+1億円） ②新商品開発件数（+3件） ③比内地鶏取扱店登録店舗数（+15件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	106,390千円 (36,195千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・林業における働き方改革や就労環境の改善に向けた林業経営者の意識啓発～モデル経営体の育成。 ・インターネットや各広報媒体をフル活用した、モデル経営体の取組をメインとした“新しい林業”の“見える化”推進。 ・デジタル技術の活用により、森林資源や路網状況をデータ化した森林整備管理システムの構築。 ・森林造成から調査・測量、原木の生産・販売までの作業システムのスマート化モデルの確立。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 林業従事者の確保・定着を目指す林業経営者らの意識啓発を図りながら、これらの取組に対し実際に動き出すモデルとなる林業経営体を育成し、それらの事例をはじめとする“新しい林業”をあらゆる広報媒体を活用し“見える化”を推進することで、他社への波及効果を通して業界全体のイメージ底上げを図り、最終的には女性や若者にも魅力的な職業として選んでもらうことを目指す。					モデル経営体 (チャレンジプラン効果) 林業の魅力発信 (見える化推進) D X 推進 (スマート林業) 働き方改革 就労環境の改善 女性・若者が選ぶ “新しい林業”	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 林業経営体の多様な働き方や就労環境の改善に向けた取組に対する支援 ・取組メニューの実施（補助金）10,000千円 デジタル技術を活用した森林資源や路網状況のD X 推進 ・航空レーザ計測による林内路網のD X 化（委託）6,900千円 ・森林資源（林業適地等）のゾーニング（委託）8,600千円 ・木材生産経費算出システムの構築（委託）5,500千円 新たな木材流通を促進するための中間土場とスマート化モデルの確立のためのICT機器の実証等の実施 5,195千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規林業就業者数（+30人） ②新規就業者における3年後の定着率（+21%） ③新しい林業に取り組む経営体数（+50者） ④デジタル化によるスギ生育適地数（+80地区） ⑤ICT機器を4種以上導入している林業経営体数（+9者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	39,420千円 (15,096千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・全国的に関心が高い社会課題をテーマに設定して商品開発や技術開発を支援するとともに、多様なステークホルダーが参加し、情報交換や意見交換を行える取組を通じて、県内ものづくり企業の新たな分野への参入を支援する。 ・本事業を通じて、新たな分野への進出や新たな付加価値の創出等に積極的にチャレンジする成長力の高い企業を育成し、芯の強い県内産業を構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内ものづくり企業が大学等と連携して商品開発を行う際には、公設試験研究機関が技術的なサポートを行うとともに、市町村等と連携して実証場所を確保する。また、異なる立場の様々なステークホルダーとの意見交換ができる体制を整備して支援し、新たな事業分野への参入に対応できる人材を育成する。					＜商品開発協働事業の支援イメージ＞ 経費補助・伴走支援 県内企業 大学 公設試験研究機関 県内市町村 金融機関 1年目 研究開発 2年目 実証事業 (マーケティング) 3年目 社会実装 (県外への展開)	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 社会課題に立ち向かう商品開発協働事業 ・新産業創出に資する商品・技術開発(補助金)12,000千円 ※県内企業と大学等が連携して3年間でを行う商品・技術開発を一貫支援 ・新商品開発等における伴走支援(委託料)2,322千円 ものづくりイノベーション人材創出事業 ・新たなイノベーションを創出する交流や人材育成に資する経費(委託料)759千円						
主なKPI	①補助事業実施企業における新規雇用者数 (+3人) ②補助事業実施企業における新商品・新規事業の件数 (+8件) ③報告会 (交流会) 参加者数 (+90人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/archive/92824

事業概要：新県立体育館を活用した地域のにぎわい創出プロジェクト

継続

申請者	秋田県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	13,039,245千円 (2,411,648千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・付加価値の高い観客席エリアやデジタル技術を活用し、トップスポーツやコンサート等の集客力の高い興行を開催するほか、スポーツツーリズムの推進や観光プロモーションの実施により、新たな観光需要の創出を図る。 ・スポーツ施設機能を高める施設整備と県民に親しまれている丘や緑地の整備を一体的に行うことにより、利用者の利便性向上のほか、回遊性の向上による地域の賑わい創出や交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 老朽化した県立体育館を、「みる」アリーナ、「する」体育館、「ささえる」医科学の3つの機能を有する東北最高水準の施設に建て替える。 関係事業者等と連携したスポーツと観光の相乗効果をもたらす取組を実施することにより、県内各地の観光地への回遊性を高め、観光消費を促進するとともに、スポーツツーリズムを通じた関係人口や交流人口の拡大を図る。					 全景	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・冬季誘客推進事業（補助金） 592千円 ・スポーツツーリズムの推進につなげる人流分析事業（委託料） 17,000千円 ○拠点整備事業 ・施設整備費 567,862千円 PFI事業により、付加価値の高い観客席エリアや演出設備の整備を行う ○インフラ整備事業 ・都市公園事業 1,826,194千円 PFI事業により、新県立体育館の整備を行う					 体育館	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①秋田県の観光消費額（+560億円） ②新県立体育館の年間利用者（来場者）数（+262千人） ③新県立体育館の年間興行・イベント開催数（+54回） ④来場者アンケートで「宿泊を伴う観光をする」と回答した方の割合（+34.3%） ⑤秋田県産品プラザの観光入込客数（+16,100人）					 アリーナ	
						 VIPルーム	
URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL						https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/92824	

事業概要：人口減少対策による「強い経済」構築事業

新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	350,425千円 (170,330千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足や地域経済の自立的循環の欠如という課題を解決することで、地場産業の衰退を食い止めることにより、本県の暮らしの安定を実現し、強い経済の構築に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県における著しい人口減少・少子高齢化により、労働力不足など経済活動への脅威が非常に高い状況となっている。 SNS等にある秋田に関する投稿などの県民の意見についてのブロードリスニングを行い、県民ニーズの解像度向上を図る。 SNSを活用した情報発信を行うとともに知事と県民の意見交換会にオンライン配信を導入する。ターゲットのライフスタイルや潜在的なニーズを分析し、共感を生むコンテンツ（縦型ショート動画、移住者のリアルな暮らしの深掘り等）を戦略的に配信する。人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、産業構造の転換を図り、県民の暮らしと安定を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ブロードリスニング・意見投稿プラットフォーム運営（委託料等）8,965千円 ・地域共創空間創出（委託料等）8,147千円 ・「2040年の秋田の姿」に向けた県民参加促進（委託料）2,578千円 ・移住情報発信事業（委託料）11,896千円 ・秋田移住ブーストキャンペーン展開（委託料等）28,117千円 ・秋田県ブランド確立110,627千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①秋田県の15～19歳、20～24歳の人口社会減改善数（転入者－転出者数）（+1,212人） ②県内大学生の県内就職率（+8.4%） ③Instagram閲覧数（+1,44万回） ④秋田県への移住者数（+423人） ⑤旅行消費額（+832億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	255,970千円 (85,405千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若年層（18～39歳）の転出が人口減少の主要因である構造的課題に対し、進学・就職時の転出超過を抑制し、地域への定着を図る。 ・建設業をはじめとする地域産業や、地域の安全・安心を守る活動の担い手を確保し、持続可能な社会を実現する。 ・若者が「地域を知る」「関わる」「試行錯誤する」「役割を得る」「暮らし続ける」という一連の流れを地域内で完結させる環境の整備。 ・企業・NPO・大学・自治体等が協働（共創）し、若者が地域に根付くための受け皿と活躍の場を創出する。 ・若者を地場産業の新たな担い手として確保することで、社会基盤の持続可能性を確保し、国民（県民）の暮らしと安全を守ることに繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若年層（18～39歳）の転出超過という構造的課題に対し、「知る・関わる・試す・役割を得る・暮らす」の一連のプロセスを地域内で完結させるモデルを構築する。SNS発信、挑戦支援、就職促進、建設業等の担い手確保など9つの事業を、企業やNPO等との「共創」により展開し、若者の定着と持続可能な地域社会の実現を目指す。					地域を知る ・若者向けSNS広告 関わる ・協働による課題解決 ・若者参画モデルの展開 暮らし続ける ・建設産業の担い手確保 ・スポーツによる活性化 役割を得る ・学生等の県内就職促進 ・地域おこし協力隊支援 試行錯誤する ・主体的な行動の促進 ・実践プロジェクト支援 若者の定着・持続可能な地域社会の実現	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・若者向けのSNSによる地域の魅力発信（委託料）1,650千円 ・NPO・企業等との協働マッチング・実践活動支援（委託料）2,531千円 ・若手地域貢献活動の促進・伴走支援プログラム（委託料）12,663千円 ・私立大学等の産学連携・就職支援への助成（補助金等）15,045千円 ・多層的な学生・企業交流プログラム（委託料・使用料）30,582千円 ・協力隊の募集支援および定着促進プログラム（委託料）3,934千円 ・若手アーティスト・学生の地域文化活動・伴走支援（委託料）7,000千円 ・建設重機 e スポーツによる高校生の意識啓発（補助金）5,000千円 ・スポーツ振興とプロチーム活用による地域活性化（補助金）7,000千円						
主なKPI	①若者の県内就職率（+4.5ポイント） ②Instagramフォロワー増加数（+1,400人） ③協働の取組の企画立案、応募数（+12件） ④起業・地域づくり人材育成プログラムへの応募者件数（+30件） ⑤育成されたアーティストの増加人数（+54人） ⑥県内建設産業に就職した高校生の増加人数（+16人）					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値		※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL					

事業概要：地域産業収益力アップ総合支援事業

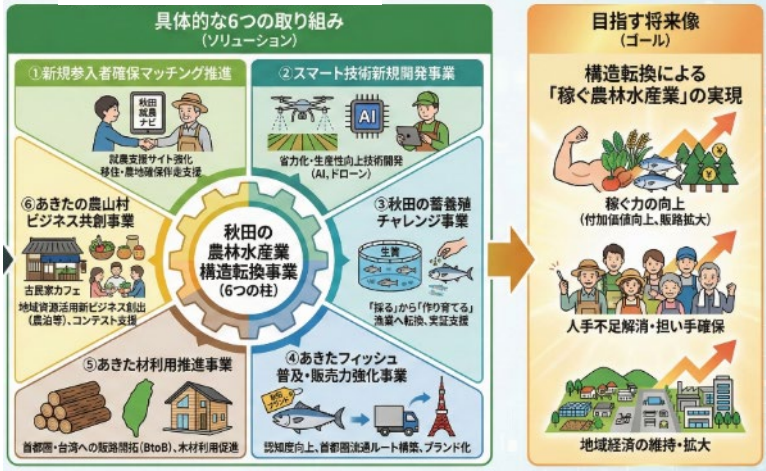
新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	336,042千円 (78,624千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・企業連携や専門家支援で生産性を高め、賃金水準の底上げを図ることで若者の流出を抑制し、地域の稼ぐ力を醸成することで、地域経済の活力の維持を図る。 ・承継・起業・学生定着支援により経営資源を次世代へ引き継ぎ、地域産業の担い手確保と安定した雇用創出を図る。 ・戦略的広報や受入体制整備により、人手不足が深刻な地域産業の担い手を確保し、外国人材の定着・活躍を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 収益力向上に向けて地域の中小企業や団体等が連携して行う多様な取組をを支援する。また、専門家を派遣し経営診断から現場定着までを一貫して伴走支援するほか、事業承継ではニーズの発掘や後継候補者のマッチング、経営スキル向上を図る。さらに、若者や移住者の起業支援、企業のインターン受入体制強化に向けたセミナー・学生向けツアーを実施する。加えて、外国人材の定着を促す生活・学習環境整備への補助や、送り出し国への魅力発信・PRを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企業連携やデジタル化等による収益力向上支援（補助金） 40,000千円 ・事業承継に係る包括的支援体制の構築（補助金等） 17,211千円 ・起業家育成や商店街の課題解決を促進（補助金） 12,670千円 ・外国人材の獲得に向けた海外への魅力発信（委託料） 4,222千円 ・若者の定着に向けたインターンシップ支援（補助金） 3,150千円 ・中小企業への専門家派遣による伴走支援（補助金） 1,371千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①所定内給与額（+2.4万円） ②労働生産性の前期比伸び率（+9.0%） ③後継者不在率（▲13.2%） ④起業塾に参加した人数（+120人） ⑤外国人雇用事業所数（+293事業所） ⑥インターンシップ関連セミナー等参加企業数（+100社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540

Geminiにより生成した画像を使用しています。

事業概要：秋田の農林水産業構造転換事業

新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	247,916千円 (78,926千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・担い手の確保対策を進めるとともに、スマート農業の普及拡大による省力化・生産性向上や新たな生産技術への取組、販路開拓や新たな農業ビジネス等への取組を通じて、深刻な人手不足の解消と稼ぐ力の向上を図ることにより、農林水産業の構造転換を進め、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 深刻な人手不足の解消に向けて、担い手の確保対策やスマート技術の開発・普及を進め、農林水産業の生産性向上・省力化等を図る。新たな生産技術の開発・普及により水産業の付加価値を向上させ、国内外における販路開拓、農山村の新たなビジネスの創出により、農林水産業の稼ぐ力を向上させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新規参入者確保マッチング推進事業（委託料）10,769千円 ・スマート技術新規開発事業（委託料）5,995千円 ・秋田版蓄養殖チャレンジ事業（補助金）3,500千円 ・あきたフィッシュ普及・販売力強化事業（委託料・補助金）3,506千円 ・あきた材利用推進事業（委託料・補助金）41,656千円 ・あきたの農山村ビジネス共創事業（補助金）13,500千円						
主なKPI	①農林水産業産出額（＋776億円） ②新規就農者数（＋45人） ③スマート技術を導入した法人の割合（＋14%） ④県産材製品出荷量（＋14千m3） ⑤売上額250万円以上の新たな農村ビジネス数(+12件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540

事業概要：県内の産業基盤を支えるデジタル人材育成事業

新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	370,209千円 (118,123千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル人材育成プログラムを実施し、次世代デジタル人材の継続的な創出を図る。 ・県内企業のデジタル化・DXを支援することで、県内産業の付加価値向上及び地域経済の維持及び拡大に繋げる。 ・プログラムを受講した学生の地域や県内企業への関心を高め、若年層の県内定着及び県内就職促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・小学生から大学生まで一貫したデジタル人材育成プログラムを実施するとともに、県内事業者のDXを支援する機会を創出することで、将来的に県内で活躍するデジタル人材の創出・定着を図る。 ・技術の楽しさに触れるイベントの開催から、地域課題の解決や県内事業者のDX推進を目的としたPBL（課題解決型学習）の実施まで、段階的かつ継続的な学びの機会を提供する。 ・PBLプログラムを実施することで、地域の魅力を再発見し、地域への帰属意識を向上させる					 県内事業者のDX支援（イメージ） ※Geminiにより生成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・あきたデジタル・ゲートウェイ体験事業（委託料） 9,647千円 ・AKITA DeX人材育成事業（委託料） 108,416千円 デジタルスキル習得に向けた機運醸成を図る短期の学習会を開催。 県内中小企業の経営課題の洗い出しから、具体的なデジタルソリューションの提案・制作を行うPBLプログラムを実施。						
主なKPI	①地域の転出入者数（+1,418人） ②中小企業等のデジタル化支援が可能な人材数（+46人） ③体験イベントにおいてデジタル技術をより学習・体験したいと回答した人の割合（+24%）					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/12540
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：AKISTAスタートアップエコシステム形成加速事業

新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,744千円 (50,248千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スタートアップが地域に次々と創出し成長する環境（スタートアップエコシステム）の構築を目指し、地域産業の高付加価値化を実現する。 ・特に、本県の未利用の地域資源や、全国に先行する人口減少による地域課題を、新たなビジネス資源ととらえて事業の起点とし、全国・世界に事業展開していけるような秋田ならではのスタートアップを増やしていくことで、地域への効果を最大化する。 ・スタートアップにより、地域外から資金・人材・知見を呼び込み、地域経済に新たな成長資源を循環させ、高付加価値型・成長循環型の産業構造へ転換させることで、地域経済の拡大に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 秋田型のスタートアップエコシステム形成に向けて、創業初期の県内スタートアップに対するアクセラレーションプログラムを実施し成長加速を支援するとともに、国際的なスタートアップイベントやフィンランドでのPR等を通じて、成長段階が上がったスタートアップが秋田に根ざしながら成長に必要なリソースにアクセスできる環境を構築する。また、首都圏のスタートアップ集積拠点等との連携により、県外スタートアップの実証誘致及び定着に向けた仕組みを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 創業初期の県内スタートアップの成長加速支援 ・アクセラレーションプログラムの実施（委託料）5,467千円 ・ビジネスモデル確立に必要な経費の補助（補助金）2,500千円 秋田に根ざしながら国内外のリソースにアクセスできる環境の構築 ・スタートアップイベント出展、機運醸成イベント開催（委託料）10,187千円 ・フィンランドでの事業環境PR（委託料）6,878千円、（旅費）3,553千円 ・県外スタートアップの実証誘致及び定着支援の強化 ・県外スタートアップと県内協力者等の交流機会の創出（委託料）12,178千円 ・ビジネスモデル確立のための実証・実装の経費補助（補助金）6,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①開業率（+0.3%） ②民間資金調達を実現した成長スタートアップ数（+6社） ③新たな成長ロールモデル候補の創出数（+6社） ④実証実験後県内で活動継続した県外スタートアップ数（+2社） ⑤国内外のスタートアップ及び支援者との関係構築先数（+150件） ⑥本県とフィンランドのスタートアップ等の相互進出・交流企業数（+14社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540

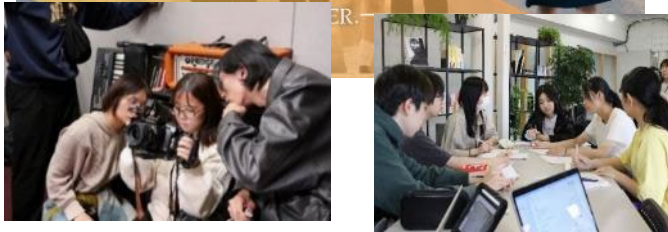
事業概要：秋田の観光誘客再構築事業

新規

申請者	秋田県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,038,494千円 (290,368千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・潜在的なインバウンド需要を顕在化させ、従来の「プッシュ型」から、観光客が自ら秋田を目指す「プル型」の観光構造へ転換する。 ・デジタル対応や高付加価値化等を一体的に推進することで、低収益構造から能動的で高収益な「稼ぐ」構造へ質的に変革し、持続的な成長基盤を構築する。 ・地場産業の「稼ぐ力」強化で地域経済を拡大させ、インバウンド消費を広く波及させることで、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・個人旅行者が、自国等に居ながらにして秋田の観光情報を容易に入手し、旅行計画から航空券・宿泊・体験等の予約までをオンラインでシームレスに完結できる「見つけやすく、予約しやすい」環境を構築するため、Googleマップでの観光情報の充実やOTAでの旅行商品の販売等を推進する。 ・各国市場への緻密なマーケティングとSNS等を用いた戦略的な情報発信により、FITを中心に秋田の認知度を高め来訪意欲を喚起し、実誘客を拡大する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・グローバルOTA掲載用の宿泊・体験コンテンツ開発・掲載支援（委託料等）6,086千円 ・Googleマップの情報掲載の強化（委託料等）7,376千円 ・AI時代に対応したAIでも参照される外国語版公式ウェブサイトへのリニューアル（委託料等）48,431千円 ・観光関係事業者のセールスノウハウ向上に向けたランドオペレーターを講師とする実践研修会（委託料等）10,226千円						
主なKPI	①秋田県内の観光消費額（+832億円） ②秋田県内の外国人延べ宿泊者数（+144千人） ③秋田県内の観光地点等入込客数（+10,899千人）					URL	https://www.pref.akita.lg.jp/page/s/genre/12540 (令和8年8月公表予定)

事業概要：秋田市シティブロモーション推進事業

旧制度（推進）

申請者	秋田県秋田市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,499千円 (19,421千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・地域の閉塞感を取り払い、地方からクリエイティブで夢のある挑戦ができるまちへ ・若者の人の流れを生み、活があり持続可能なまちの将来像を目指す ・ポジティブ意識とシビックプライドの醸成を図る ・住民にも、関係人口にとってもクリエイティブで魅力あるまちを目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 映像やアニメ等のエンターテインメントコンテンツの制作・発信を通して、若い世代が地域資源や人の魅力、価値に触れながら、地方でも将来、クリエイティブでやりがいのある仕事ができ、人脈が築けるようサポートする。 「秋田市なら何かできるかもしれない」というワクワク感や、こうした学生・若者の活躍を発信することで、「本市に関わりたい」という人の流れを生む。		 
	【R8年度事業 経費内訳】 ・「映像のまち」秋田アニメ・映画×学園祭の開催費用等 1,650千円 ・県内外高校生の秋田留学等 1,904千円 ・秋田市公式Instagram写真展 4,327千円 ・市民、関係人口による本市の魅力が詰まった写真・動画等への、県外企業と連携した表彰 1,728千円 ・秋田市出身の有名CM監督と、市民・関係人口による本市のブランディングおよび映像・写真の発信を学ぶWS 6,487千円 ・ターゲティング広告を活用した本市の魅力発信 3,325千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①世帯主が20代30代の移住者数(+105人) ②10～30代の市民調査における「秋田市が好き」(+6%) ③ブランド総合研究所「地域ブランド調査」魅力度ランキング(+36位) ④移住した世帯のうち世帯主が20代30代の割合(+3.69%)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.akita.lg.jp/iju-teiju/1021674/1043548/index.html

事業概要：外国人材受入・共生推進事業

継続

申請者	秋田県能代市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,429千円 (19,249千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 能代市は全国及び秋田県内と比較しても有効求人倍率が高い地域であり、少子化により新卒（高卒）就職者も減少傾向にある。そうした状況においても、人材不足対策として全国的に注目されている外国人材受入も進んでいない。 - こうした状況を打開すべく、R6年度に市内企業数社が中心となって経済産業省の「地域の人事部」制度を活用し、「一般社団法人COCORO」を設立。地域一丸となって外国人材受入推進を目指す取組を開始しており、本市もその動きをバックアップしている。 - このような民間主導による外国人材受入推進の動きに連携して、市としてもその動きを加速させるための取組を実施するとともに、外国人材が地域に受け入れられるよう、必要な支援等を行うことにより、地元企業と一体的に外国人材受入の推進、共生社会を作り上げることによって、海外から能代が「選ばれる街」になることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 外国人材の必要性について啓蒙・啓発を行いながら、市内企業の外国人材受入を後押しするとともに、外国人材の日本語能力の向上を支援し、コミュニケーション能力を高めることで、就労の円滑化、地域との共生推進を図る。					 インドネシア送り出し機関「LPK Hadetama」における COCOROクラス開校式の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 外国人材受入推進助成金 12,000千円 地元企業の外国人材雇用を推進するため、外国人材雇用時に係る初期経費の一部を補助（受入人材1人につき200千円上限、1社5人まで） 日本語学習アプリ無償提供支援 3,303千円 市がオンライン日本語学習アプリの契約を行い、市内在住の外国人もしくは本市で就労することが決まっている外国人材に、無償利用してもらうことで、日本語学習支援を行う（原則1年毎に更新、最大3年間利用可） 多文化共生拠点運営実証事業 3,446千円 外国人材と住民が交流する多文化共生拠点を実証的に整備・運営するとともに、学習アプリと連動した日本語・文化の学習教室を開催する。						
主なKPI	①能代市へUIターンした世帯数（+239世帯） ②就労目的の在留資格による外国人材の人数（+160人） ③日本語学習アプリ利用者数（+300人） ④日本語能力試験N3以上取得者数（+140人） ⑤多文化共生拠点の利用者数（+450人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.noshiro.lg.jp/sangyo/machizukuri/tabunkakyosei/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：水素ラボ構想事業

新規

申請者	秋田県能代市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	547,230千円 (43,730千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・JAXA能代ロケット実験場が有する液体水素貯蔵タンクから気化によって発生する水素ガス（ボイルオフガス/BOG）を再利用できる環境を整備し、大学や中小企業、ベンチャー企業等へ提供することで、地域における水素の新たな需要創出に繋げる。 ・地元企業の水素分野への参入機会を創出することで、地域の特色ある産業振興を図るとともに、国全体の大きな目標である2050年カーボンニュートラルの実現や水素社会の実現に向けて地方の立場から貢献していく。 ・新たな水素研究開発拠点の整備と再生可能エネルギー集積等を背景として、新産業創出を図り、地域特性を活かした産業集積に繋げる。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 水素ラボの取組をPRするプロモーション動画やWEBサイト等を製作し、情報発信を行うほか、新たな水素ラボユーザーの獲得や地域における水素需要創出、水素に対する理解醸成に向けたシンポジウムを開催する。また、計画の全体管理や関係機関の連携促進等により、構想を自立・自走的に推進していくための枠組構築に向けた準備協議会を設立する。加えて、BOG再利用施設整備に係る実施設計を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・水素ラボPR動画・HP・パンフレット作成（委託料）：5,000千円 ・水素シンポジウムの開催（使用料及び賃借料、報償費等）：1,000千円 ・「水素ラボ構想推進準備協議会」の設立・運営（委託料）：15,730千円 ○拠点整備事業 ・BOG再利用施設実施設計：22,000千円 ⇒・BOGの回収・加圧・貯蔵・充填に関する設備を整備し、大学や企業等にBOGを活用した水素の研究開発環境を提供することで、本市への企業・人材集積や地域の新たなイノベーション創出につなげる。						
主なKPI	①地域内関連事業の付加価値増加率（+75%） ②JAXA能代ロケット実験場で大学・民間企業等が行う実証試験等の延べ日数（+330日） ③JAXA能代ロケット実験場で実証等を行う大学・民間企業等の数（+22団体）					URL	https://www.city.noshiro.lg.jp/section/kikaku/sogo-seisaku/kigyo-renkei/24264

事業概要：若者・女性Re:創のまち能代プロジェクト

新規

申請者	秋田県能代市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,978千円 (7,326千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少や少子高齢化、担い手不足による地域コミュニティの減退、子育て・健康・災害への不安感、ジェンダーギャップ等、本市の抱える諸課題を背景に、行政や民間事業者、住民、学生等、多様な主体が関わりながら、若年層の自己実現や多様性の受容と尊重、子育てを地域全体で支援するための環境を整備するなど、若者や女性を含む多様な世代による自己実現支援を起点とし、地元企業に新たな視点やスキルをもたらすことで、地場産業の持続的発展と競争力強化に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 【事業概要】 地元企業や住民等を対象に、若者や女性の自己実現、多様性の受容等に関するセミナーを開催するほか、企業・大学等と連携した職場体験や、学生が地域の課題解決に通年で取り組む地域活動参画プログラムを実施することにより、大学生との継続的な関係性の構築と、地域における柔軟な就労環境、自己実現や多様性の受け皿づくりを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 若者女性に選ばれる地域づくり推進事業（セミナー・シンポジウム等開催、SNS・広報媒体による情報発信等）（委託料等） 3,126千円 大学連携・ミライ創造事業（大学生によるオープンカンパニープログラム、若者井戸端会議の開催、地域活動への参画、情報発信等）（委託料） 4,200千円						
主なKPI	①能代市へUIターンした世帯数（+255世帯） ②新規高等学校卒業者による地元就職率（+15%） ③勉強会・セミナー等への参加企業数（+27%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.noshiro.lg.jp/city/plan/machi-hito-shigoto/

事業概要：奥秋田サスティナブルツーリズムプロジェクト

旧制度（推進）

～地域の強みをサスティナブルな取り組みに進化させ、稼ぐ観光へ～

申請者	秋田県大館市ほか3自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	261,076千円 (38,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・エコツーリズムを核としたサスティナブル・デスティネーションの確立 ・持続可能性に重きを置き、地域資源を活用した、観光で外貨を稼ぐ仕組みづくり ・観光消費額の増加を目指した、観光コンテンツやサービス・商品の再編集、付加価値の向上 ・人口減少及び少子高齢化により維持が困難となっている地域コミュニティや歴史・文化を持続可能なものに		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 4市町村が連携し、自然、文化、産業などの地域資源を活用した持続可能な観光地づくりを推進する取り組み。地域独自の既存の取組や世界遺産をニーズに合わせてカスタマイズした体験型観光の商品化や、地元企業との連携・修学旅行生誘致を担う協議会の統合など、受け入れ態勢の強化により交流人口を拡大し、外貨を稼ぐ仕組みづくりと地域経済の活性化を目指す。 【R8年度事業 経費内訳】 ・潜在顧客や市場環境分析のためのマーケティング調査 2,200千円 ・国内外の来訪者獲得のためのPR戦略 14,000千円 (海外インフルエンサー招聘による委託料ほか) ・新たな商品・サービス等の開発及び販売 3,280千円 (二次交通オンライン予約サービスに係るシステム構築費用ほか)  ↑観光DMPを活用したデータ駆動型マーケティング確立に向けた研修会の開催  ↑海外インフルエンサー招聘 インバウンドのターゲット層に向けた観光プロモーション  ←アドベンチャーウィーク受入 「マタギロングトレイル」の商品化に向けた活動		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域への経済波及効果（+4,339百万円） ②教育市場（修学旅行等）収入（+3,128千円） ③農家民宿関連（農泊等）収入（+1,559千円） ④来訪者の地域のサスティナブルな取り組みに対する評価（5段階評価）（+3.48ポイント） URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の取り組み) https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p12463 (効果検証) https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p10712		

※大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の広域連携事業

事業概要：

スポーツコミッション大館による

スポーツツーリズムの推進と交流を生むまちづくり

旧制度（推進）

申請者	秋田県大館市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費	154,638千円 (24,104千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・スポーツツーリズムの推進により新たな観光客の増加を図る。 ・スポーツツーリズムによる観光消費額増加のため大会併催イベントにより参加者の宿泊日数増加を図る。 ・スポーツを行うソフト環境を整え、スポーツ実施率向上とスポーツを通じた交流の促進を図る。 ・スポーツ情報の発信により合宿やイベントの誘致、ふるさと納税等でのスポーツへの支援者増加を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県内のトップスポーツチームや企業との共同企画等により、スポーツに対する市民の関心を高めるとともに、圏域外からの集客により交流人口の拡大を図る。一方で、市民を対象としたスポーツ・レクリエーション活動の推進により市民が自らスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを目標に、だれもがスポーツが楽しむことができる環境を整える。	 サイクリングイベント  マラソン大会 併催イベント（クリニック）  スポーツ教室（体験イベント）  ニプロハチ公ドームアーカイブ AIカメラ本体 【本館】AIカメラ 試合配信サイト	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スポーツ実施率向上のための環境づくりと交流の促進（委託料等）13,265千円 健康づくりの習慣化や競技力の向上のためにスポーツ教室や講習会等を開催する。 ・自転車を活用したスポーツツーリズム推進（委託料等）5,095千円 ガイド養成講習会等を実施する。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①スポーツツーリズムによる誘客（+2,500人） ②スポーツ合宿及びスポーツ大会等による宿泊数（+1,628泊） ③友好都市との交流事業関係人口の拡大（+170人） ④スポーツ実施率（+13%）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の取り組み） https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p12463 （効果検証） https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/kikakuchosei/p10712

事業概要：シティプロモーション推進事業

新規

申請者	秋田県男鹿市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,854千円 (18,143千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市民が誇りを持ち自ら語れるまちになるため、官民が連携してまちのブランドづくりを推進する。 ・地域の価値や魅力を明確化し、戦略的に発信することで、来訪者や移住者等の需要を創出し、地場産業の付加価値向上と地域経済の活性化に繋げる。 ・関係人口の創出を労働力の確保につなげ、地場産業の持続的な発展に資する産業基盤の強化を目指す。 ・市の取り組みに対する市民や当市に関わる人たちの共感を高め、当市に対する想いと行動を生み出すことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまで断片的に行われてきた情報発信や官民連携の取組を整理・体系化し、戦略的なシティプロモーションを推進する。将来の移住・定住が期待される子育て世代を主なターゲットとし、首都圏を中心にサイネージや公共交通広告、雑誌など複数媒体を活用するほか、市内企業が主催する特産品やなどの販売会に参加し、企業が有する発信力を活かした効果的な情報発信を行う。 また、市民や地元企業とシティプロモーションチームを構築し、市民の想いや現場感覚を反映したまちのブランドづくりを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ナマハゲの教えを体現した「なまはげの里フィロソフィ」の普及 1,870千円 ・官民連携によるシティプロモーション 75千円 ・子育て世代をターゲットにした戦略的な情報発信 14,819千円 ・移住定住の推進のための移住イベント 379千円 ・企業版ふるさと納税促進事業（市外企業に本市の地方創生の取組を効果的にPR） 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+52万人） ②ふるさと納税寄附受入額（+4.7億円） ③移住定住施策などを通じて移住した世帯数（+15世帯） ④市公式ホームページ総ビュー数（閲覧数）（+12万回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.oga.akita.jp/

申請者	秋田県湯沢市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	16,395千円 (5,465千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	IT関連企業の就職希望者、市内出身学生及び市内在住高校生を対象に、IT人材を育成するためのリスキング事業により、IT人材の確保を図る。また、IT人材の増加によってIT関連企業の市内進出につなげることにより人口減少の抑制及び雇用環境の改善に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 IT関連分野について、市内で仕事や学習ができる環境が整っていないという課題を解決するため、IT関連企業へ業務委託し、IT関連企業の就職希望者、市内出身学生及び市内在住高校生を対象に、IT人材を育成するためのリスキング事業を実施する。既存の市内IT関連企業及び新たに市へ進出するIT関連企業が求めるような人材を育成し、受講した市民が市内IT関連企業へ就職することで、人材の地元定着が進み、若い世代をはじめとした人口の市外流出の抑制につなげる。また、さらなるIT関連企業の市内進出につなげ、より多くの市民がやりたい仕事・稼げる仕事ができる雇用環境の創出を図る。						
	※経費内訳はR8年度事業費 【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 IT人材育成事業 ・スキルアップセミナー（委託料）5,465千円 業務概要：Salesforce基礎講座、アソシイト試験対策講座、試験申し込み講習会・過年度受講者との交流会 参加人数：10名 募集方法：市HP、市広報、ハローワーク・市内高校への周知 スケジュール：R8年6月委託契約⇒7月参加者募集⇒8月研修開始⇒11月資格試験						
主なKPI	①市内IT関連企業への就職者数（+15人） ②IT企業の誘致数（+3社） ③IT関連企業における事業に対する満足度（+60%） ④セミナー参加者数（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-yuzawa.jp/soshiki/10/6281.html

事業概要：湯沢市多目的広場（仮称）整備事業

新規

申請者	秋田県湯沢市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	756,360千円 (51,570千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・市中心部に平時は市民が気軽に立ち寄れる中心市街地の憩いやレクリエーションの空間として、イベント時はその会場として活用可能な多目的広場（一部隣接する中央公園の整備を含む）を整備することにより、にぎわいの創出、近隣の中心商店街への回遊の促進、地域の生活サービス継続性の確保、交流人口の増加を通じたまちの賑わい創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市中心部に賑わい創出の拠点となる多目的広場を整備する（一部隣接する中央公園の整備を含む）。 ○多目的広場の新規整備 ・エントランスの整備（エントランス階段、四阿の整備） ・遊び場の整備（芝生整備、遊具・四阿・水飲み場・噴水の整備） ・多目的広場の整備（芝生広場の整備、舗装） ・デッキ・ステージの整備 ・多目的ガレージの整備（給排水設備を備えたガレージ、イベント等用品バックヤード、多目的トイレの整備） ・融雪設備の配管補強工事 ・立木の伐採、剪定 ○中央公園の改修 ・砂利敷き箇所の舗装および芝生整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計業務委託料 51,570千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市の人口減少率（0.4ポイント改善） ②中心市街地における平日の歩行者通行量（+300人/日） ③1年度あたりの市内中心部を会場としたイベントの開催回数（+50件/年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city-yuzawa.jp/life/4/38/414/

事業概要：まちづくり人材育成プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	秋田県鹿角市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,694千円 (17,703千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・ふるさとの未来を支える人材を育成する ・活気のある魅力的なまちづくりを目指し、地域を担うコア人材を創出する ・マンパワー不足を解消するため、まちづくりに挑戦する新たな関係人口の獲得を進める ・地域課題の解決に向け、多様な大学と連携を図りながら、大学研究を誘致する		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域人材を育成するため、教育活動として地元企業での職場体験や地域との交流活動による農作業や祭り・伝統文化に触れる体験を行うほか、まちづくり人材育成のための講座や塾、フィールドワークを開催する。また、外部人材の獲得に向け、首都圏向けの地域課題解決のための講座やツアー、交流会を実施するとともに、大学連携による課題解決のための共同研究及び実証活動を実施する。		 かづこアカデミーの様子
	【R8年度事業 経費内訳】 ・各種体験活動費用（謝礼、事務費等）3,939千円 ・政策講義・フィールドワーク開催経費（事務費）55千円 ・かつの未来アカデミー開催経費（謝礼、事務費等）330千円 ・かつコトアカデミー開催経費（委託料）8,351千円 ・地域課題解決を図るツアー実施費用（委託料等）2,286千円 ・関係人口交流拠点・オンライン環境支援費用（委託料等）1,663千円 ・まちづくり人材育成の共同研究費用（謝礼）40千円 ・まちづくり実践・実証活動費用（補助金、事務費）1,039千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+174人） ②市外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思ふ市民の割合（+16.56%） ③市民の力で新たに生み出されたまちづくり事業数（累計）（+15件） ④まちづくり実践活動（＝地域課題解決）に携わる関係人口数（+105人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.kazuno.lg.jp/shisei_machizukuri/shiikikasseika/6/1/14514.html

https://www.city.kazuno.lg.jp/shisei_machizukuri/shiikikasseika/6/1/14514.html

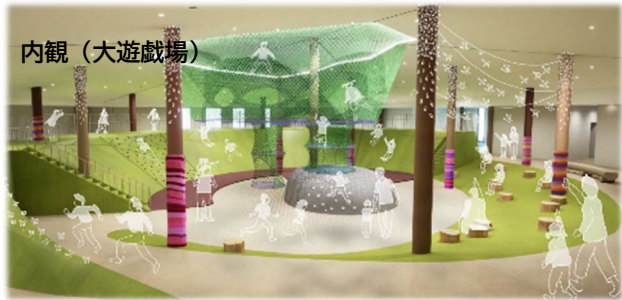
事業概要：女性・若者に選ばれる就業環境創出プロジェクト

継続

申請者	秋田県鹿角市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	97,421千円 (62,022千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	女性・若者にとって魅力ある就業環境を創出する 地元企業の労働環境整備により新規雇用者数の増加を図る 企業誘致を推進し、女性・若者の就業選択肢を拡大する 多様な働き方を促進し、意欲ある就労・就農者を確保する						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 女性や若者に選ばれる就業環境を創出するため、DX推進や職場環境の改善により、女性や若者が働きたいと思える魅力ある職場への変革を多面的に支援するほか、魅力的な企業の誘致や企業間マッチングを進め、女性や若者が市内で理想のキャリアを形成できる選択肢を増やす。さらに、テレワークやリスギング、起業支援に加え、農業サポーターのような複業スタイルを普及することで、多様な働き方を推進する。					 かつの人づくり塾の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業※施設整備経費含む ・中小企業魅力向上戦略に基づく取組支援（委託料）2,400千円 ・人材育成・職場環境改善支援（委託料）2,700千円 ・DX推進・業務改善支援（委託料）4,250千円 ・女性・若者の就職の選択肢を増やす企業誘致活動（手数料等）471千円 ・本市の優位性を活かした企業誘致戦略の再構築（委託料）4,360千円 ・企業の受入施設となる「まちなかオフィス」の拡充（工事費）40,997千円 ・テレワーク普及開発セミナー・集合研修（委託料等）4,924千円 ・農業サポーターの育成講習会（補助金等）330千円 ・移住希望者向け仕事体験プログラム（委託料等）1,590千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①従業者一人当たり労働生産性（+204千円） ②支援企業における新規雇用者数（+22人） ③誘致企業数（+3社） ④多様な働き方を実践した人数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kazuno.lg.jp/sos/hiki/seisakukikaku/sogosenryaku/gyomu/5/1/1/14504.html

事業概要：大仙市屋内遊び場施設整備事業

継続

申請者	秋田県大仙市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,604千円 (23,018千円)	
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	雨天時や積雪期でもこどもが体を動かして伸び伸びと遊べる「屋内遊び場施設」を整備することで、子育て世帯が一年を通じて訪れることができる都市公園として、さらに魅力を高め、公園の利用者数を増加させるとともに、子育てしやすいまちとしての環境整備を図り、子育て世帯の定住・移住を促進する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子育て世帯からの利用が多い神岡中央公園内に、新たにこども向け屋内遊び場施設を整備し、子育てしやすいまちとしての環境整備を図る。 本施設の整備にあたっては、設計、建設、運営、維持管理の各業務を行う民間事業者を一括して公募し、本施設の所有・資金調達に関しては市が行うPPP手法（DBO方式）により実施し、民間ノウハウを活用することで財政負担の縮減やサービス水準の向上を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・実施設計（うち飲食店部分）3,041千円 ・建築物本体工事・監理（うち飲食店部分）19,977千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年少人口の転入超過数（転入者数－転出者数）（+41人） ②子育て支援の満足度（+14.9%） ③イベント実施件数（+42件） ④屋内遊び場施設の年間利用者数（+47,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.daisen.lg.jp/archive/p20240918112832	

申請者	秋田県大仙市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,036,779千円 (313,330千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の地方創生の実現における構造的な課題を解消する施策として「道の駅かみおか」を地方創生・観光を加速させる拠点として再整備し、本市の強みである豊かな地場産品や特色ある「食」資源を提供し地域の「稼ぐ力」を高めるとともに、日本最高峰の花火大会のひとつ「大曲の花火」をはじめ多様な観光文化資源の一元的情報発信と結びつけによる周遊・通年観光化を強力に推し進め、地場産品の販路拡大や地場産業の付加価値向上、国内外からの誘客促進・滞在時間の延伸、観光消費額の増加、雇用の維持・創出、移住増加と人口流出抑制、地域経済の維持・拡大を図り、本市の地方創生と未来に向けて持続可能なまちの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「Experience大仙！（大仙を体験する）」をコンセプトに、地場産品物販、飲食、観光、防災、休憩、賑わい創出等道の駅の各機能の強化を図り、地域経済・地場産業の活性化、地方創生に寄与する拠点として再整備する。 ・物販施設の拡充(本市特産品や地元商品の販売スペース拡大・取扱強化) ・飲食施設の充実(名物料理や地場産品活用メニューの提供、スペース拡大) ・観光振興機能の強化(周遊・通年観光化に向けた観光ハブ機能の新設) ・駐車場の拡大 ・トイレ・休憩施設の充実(子ども用便器、オストメイト、授乳室新設) ・イベント広場の設置 ・防災機能の強化(防災備蓄倉庫の新設) ・賑わいイベントの開催 ・脱炭素・DX推進(ZEB Ready化、デジタル機器導入)						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 ・実施設計業務委託 52,958千円 ・建築物本体、設備工事 93,490千円 ・建築物本体設計監理、工事監理費 1,880千円 ・用地造成設計、工事 165,002千円						
主なKPI	①市の観光消費額（+20億円） ②市の年間観光入込客数（+446,750人） ③道の駅かみおかの年間利用者数（+312,292人） ④道の駅かみおかの年間売上高（+2.1億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：道の駅たかのす整備事業

継続

申請者	秋田県北秋田市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (0千円)	
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・目的地となる魅力ある道の駅へリニューアルし、魅力的な地場産品の販売や食の提供等を通して、国内外からの誘客を促し、観光消費額の増加、イベント等による賑わい創出、新たな雇用創出を図ることで、市内農林水産並びに商工事業者の所得向上など、地域全体へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。 ・アウトドア店舗誘致を核に、アウトドア関連の誘客と周遊の仕組みを構築することにより、森吉山をはじめとしたアウトドアの魅力を総合的に発信し、滞留型観光の推進することで、移住定住者並びに関係人口増も含めた地域全体の活性化につなげる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在道の駅たかのす敷地内に点在する大太鼓の館ぶっさん館（物産等販売施設、レストラン）、情報プラザ（24時間トイレ、駐車場、道路情報）、JA産直おおだいて（農産物等販売施設）を、新たに設置するアウトドア拠点機能（ビクターセンター、アウトドア活動促進施設）、地域振興機能（農産物直売施設等、飲食店）、屋内遊戯施設、24時間トイレ、駐車場、子育て世代向け屋内遊戯施設を含む新施設へ再整備し、地域全体へ経済波及効果をもたらす拠点施設とする。					北秋田市 道の駅 たかのす 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 基本設計及び実施設計0千円							
主なKPI	①北秋田市の観光消費額（+35億円） ②道の駅への観光客等入込数（+30万人） ③道の駅における消費額（+2.4億円） ④地域における観光客入込数（+86万人）					URL	https://www.city.kitaakita.akita.jp/archive/contents-6568	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	秋田県北秋田市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	439,626千円 (0千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・綴子大太鼓を中心とした地域特有の文化を活かし体験やDX化など、展示内容の魅力を向上させ、大人から子供まで楽しめる観光・文化体験の場として、地域文化の情報発信及び継承を図るとともにイベントや地域の伝統行事への参加をきっかけとした誘客、関係人口、交流人口の拡大を促進し、地域経済の活性化を目指す。 ・地域の伝統継承等を通して、多様で幅広い世代の人々が集い「地域の魅力を再認識する」ことで、郷土愛を育み、地域住民の幸福度向上と地域行事等への主体的な参加促進を図り、地域コミュニティの活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在の太鼓の館について、展示内容の魅力向上、体験コンテンツの造成やDX化を図るために必要な内外装の改修工事を実施し、観光客並びに地域の子どもから大人が日常的に集う観光文化体験の場として再整備する。 ・展示内容の魅力を向上させることで、大太鼓や地域の伝統芸能とふれあえる場を提供し、大太鼓の館への市内外からの誘客を図る。 ・地域の伝統芸能や伝統工芸、伝統文化が地域の宝と認識されるよう、情報の発信や体験を提供することで、郷土愛の醸成を促し、若者の定住促進を図ることで人口流出の抑制を図る。 ・イベント・交流スペースの整備を行い、伝統芸能に関わる機会を創出し、地域の伝統文化の再認識すること郷土愛を育み、祭りや伝統芸能等をはじめとした地域活動への参加意欲の向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・基本設計及び実施設計0千円						
主なKPI	①人口減少の抑制（▲503人） ②大太鼓の館入込数（+6.7千人） ③大太鼓関連地域行事への波及効果（+1.1千人） ④祭りや伝統芸能等の地域行事に参加したことがある市民の割合（+11%）					URL	https://www.city.kitaakita.akita.jp/archive/contents-6568
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

事業概要：首都圏循環産業創生事業

継続

申請者	秋田県にかほ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,142千円 (15,966千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 地方起業や地方進出に興味関心がある事業者向けのイベントを首都圏で実施し、首都圏人材・企業の獲得を図る。 - 地元企業の課題を解決できる首都圏企業との連携をサポートすることで、地元企業の課題解決方法を洗い出し、地元企業の確実性と持続可能性の高い事業実施体制を目指す。 - 実験的に商品の販売やサービスの提供を実践できるイベントを強化することで新たな産業創生を図り、持続可能な経済基盤を築くとともに地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 首都圏と連携した人材と知識の循環により、地元企業の体制強化と新産業の創出機会の整備を実現することで、若年層の地域への定着とそれに伴う人口減少の抑制を目指す。「インキュベーション施設わくばにかほ」を起点として、起業へのチャレンジから事業実証、企業の課題解決・体制強化など、各フェーズに応じた伴走支援により、事業拡大やベンチャー創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ハンズオンプログラムの企画・実施に関する事業 全体企画費 650千円/プログラム運用費 1,500千円/参加者及び企業等の個別獲得・調整 100千円/運営ツール運用費 380千円/募集WEBサイト広告関連費 500千円/諸経費 1,500千円 ・地域内外の事業者に向けた企画の開発・実施事業 全体企画費 650千円/イベント開催費 2,700千円/諸経費 3,666千円/オフサイトミーティング 300千円/事業実証費3,000千円 ・地域における魅力発信に関する事業 サイト運用費 1,020千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用創出数（+6人） ②実証事業数（+6件） ③事業化・商品開発等がされた事業数（+12件） ④企業連携のマッチング件数（+18件） ⑤プログラムで伴走した事業数（+24件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nikaho.akita.jp/s/oshikikarasagasu/sogoseisakuka/gyomuannai/10/6751.html

事業概要：高度外国人材等受入促進事業

旧制度（推進）

申請者	秋田県仙北市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,512千円 (9,867千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 仙北市ではサテライトオフィス誘致により市内に進出したIT企業等の成長や安定経営のため、国家戦略特区である優位性を活かして海外の優秀なITエンジニアの雇用等を支援する。 - 市内に高度外国人材等が集まり、彼らに活躍と成長の機会を提供し、地域経済が活性化することで、地元の有望な若年層に新たな雇用の場、創業機会等の提供を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 湖・スキー場等の豊かな観光資源や東京とのアクセスの良さ等を活かして、高度外国人材等の市内招聘を促進するため、国内の外国人ITエンジニアや留学生等の高度外国人材等に向けた招聘PR活動や、市内事業者等とのマッチング等を企画・実施するとともに、それらのノウハウを市内関係者に定着化させ自走につなげる。 国家戦略特区の優位性を活かし、外国人材受入企業等の各種相談や情報提供、外国人を含めた起業・開業の相談・対応支援を総合的に行うグローバル雇用・創業ワンストップセンターの運営とともに、そのノウハウを市内関係者に定着化させ自走につなげる。		内閣府 国家戦略特区 National Strategic Special Zones 仙北市 SEMBOKU CITY グローバル雇用・創業 ワンストップセンター 
	【R8年度事業 経費内訳】 - 高度外国人材等招聘促進業務 (委託料) 3,650千円 - グローバル雇用・創業ワンストップセンター運営業務 (委託料) 5,717千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数 (+45人) ②高度外国人材等視察数 (+24人) ③市内事業者への高度外国人材の紹介数 (+45件) ④ワンストップセンター利用数 (+45件)		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL 交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab/?k=semboku-city-iot

事業概要：人と地域を創生する観光誘客事業

継続

申請者	秋田県仙北市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,517千円 (11,049千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地方訪問意向が高まっている訪日外国人を呼び込み仙北市の総生産の増加を図るため市民参加型のインバウンド事業を展開する。 ・今まで市民が当たり前だと思っていた地域資源の魅力を認識し活用する事で、高付加価値化を実現する。 ・市民が参画している観光交流事業を、市民主導の経済効果の上がる観光宣伝事業に発展させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の高付加価値化に向けたスキルアップ、旅行者にダイレクトに訪問意欲のわく情報発信をするPR、市長トップセールスに合わせ多様な市民が参画する海外誘客活動、タイ向けの仙北市独自の旅行商品造成といった事業を実施し、旅行客の滞在時間の延長による観光消費額の増加を実現させ、観光経済力の高い地域づくりを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・おもてなし向上事業（委託料）500千円 ・羽田空港産直館等PR事業（委託料）440千円 ・海外誘客コーディネート事業（委託料）3,826千円 ・仙北市長トップセールス（旅費）4,831千円 ・TANBUN・リトリート推進事業（委託料）1,452千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊者数（+12.7万人） ②リピーター率（+3%） ③観光客数（+70.2万人） ④観光客満足度（+3.30%） ⑤観光消費額（+96.7億円） ⑥観光産業等に係わる市民の参加率（+2%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=semboku-city-iot

新規

申請者	秋田県仙北市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	34,489千円 (11,269千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタルスキルを身に付けた女性デジタル人材が集まり、活躍できる環境が整い、域内の女性の活躍機会が拡大することで、進学や就職等で市外に出た女性が仙北市にUターンするだけでなく、IターンやJターン等で多様な女性が仙北市内に集まることを目指す。 ・IT・デジタル関連の新たな就業・起業機会の創出をすることで、地域経済の維持・拡大を図る。 ・域内の就業環境に女性が見いだせるようになり、女性の社会減抑制と地域経済の担い手確保から、地域経済の持続的向上に繋げる。 ※以降では、秋田の小野小町に由来する知的・文化的で美しい女性の表現である「こまち」を使って、デジタルスキルを身に付けた女性デジタル人材を「デジタルこまち」と呼称する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルこま치의ニーズ等を把握・分析し、施策等への反映等で活躍できる環境を地域関係者等で整える。また、首都圏等のデジタルこまちと市内女性の交流機会を設けるとともに、デジタルこまちが活躍できる環境のPR活動等を行うことにより、IUJターンに繋げる。 時間に制約があっても収入を得られたり、副業や就業機会を得られたりできるように、デジタルスキル向上を図る研修を企画運営する。研修ではフリーランスとしての仕事受注方法等も学べ、講座実施後に企業とのマッチングイベント等を開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタルこまち応援業務（委託料）5,346千円 ・デジタルこまち育成業務（委託料）5,421千円						
主なKPI	①地域へのUIJ ターン数（+45人） ②事業を通じたデジタルこまचीの新規就業又は起業件数（+4件） ③事業を通じたデジタルこまचीの市内視察の参加者（+15人） ④デジタルこまち育成研修の受講者（+15人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	交付金の具体的使途・実施体制・効果検証 https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2308 実施事業に関するトピック https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=semboku-city-iot

事業概要：森林資源のサステナブル利用による地域創出事業

新規

申請者	秋田県上小阿仁村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	74,400千円 (24,400千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・貴重な秋田スギという森林資源および、広大な秋田スギ人工林の森林施業に超長期で関われるという価値を核に、林業6次産業化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。また、放置される山林を減らすことが経済的損失の削減につながる。 ・林業家が気持ちよく安心安全に働くことができる労働環境とするため、結びつきの強い大学及び大学生を巻き込みながら環境整備を推進し、人が集い定着する持続可能な地域を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本村の総面積25,672haのうち94.5%にあたる24,252haは森林で占められており、うち、村の民有林人工林面積だけでも4,472ha、将来に向け優良な森林資源を有しており木材資源の活用が望まれているが、少子高齢化・人口減少により担い手が不足し、また森林資源の魅力が国内林業家に伝わっていないため、このままでは放置され重大な経済的損失を招きかねない。地域商社を設立し、森林資源を未来につなげる。大学を巻き込んだ地域づくりで関係人口を増やす試みも行い、人の集う働きやすい住みやすい地域づくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・林業6次産業化による地域の持続可能性を高める地域商社設立準備 ・教育機関との連携深化に向けた検討事業 (事業構想・計画立案経費(委託料)) 24,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に関わって移住した林業関係者(川上～川下)(+3人) ②引き受けた私有林の放棄・寄附小班(+20ha) ③各種イベント・プログラムへの参加人数(+100人) ④本事業に伴い本村をレポートして訪れた人数(+10人) ⑤本事業に伴う村産木材の使用量(+40m³) ⑥カーボンクレジット創出見込み量(+97t-CO2)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：大潟村村民体育館拠点整備事業

継続

申請者	秋田県大潟村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,953,511千円 (1,902,287千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- スポーツ振興の拠点となる施設を整備し、季節に左右されない新たな競技のスポーツ合宿の受入体制を構築することで、スポーツを軸とした交流人口の拡大を目指す。 - 総合型地域スポーツクラブの機能強化を図ることで、部活動の地域展開を図ったうえで、スポーツを核とした産業を生み出し、これに関連した雇用並びに移住により地方への人流れを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域が有する地理的特性及び資源を最大限に活用し、地域の強みを生かした持続可能なまちづくりを推進するとともに、新たな産業活動や交流創出を促進するため拠点となる施設の整備を行う。交流人口の拡大並びに施設の管理・運営を担う組織にかかる雇用創出を目的として、大潟村村民体育館をスポーツ競技レベルの向上につながるトレーニングルームや会議室、空調施設の機能を有するように増築・改修する。周辺地域とのスポーツ環境の差別化を図り、新たな競技も視野に合宿を受け入れることで、地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 1,810,298千円 体育館に新たに全館空調設備及びバリアフリー化を図る 施設の機能強化を図る（トレーニングルーム、フィットネスルーム、会議室2室、多目的室1室、控室2室等） ・工事監理業務委託 40,507千円 ・備品購入 51,482千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+17人） ②交流人口の拡大（+13,000人） ②スポーツ合宿件数（+13件） ④部活動地域参加者数（+24人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.ogata.akita.jp/archive/p20260610093821

事業概要：美郷町子ども子育て支援拠点施設整備事業

旧制度（拠点）

申請者	秋田県美郷町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	950,053千円 (58,095千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	子どもが安全で安心して1年を通して天候に左右されず遊べる場、親子のふれあいの場や子育て相談の場として「美郷町子ども子育て支援拠点施設」を整備することにより、子どもの遊び場や子育て世代が安心して楽しく子育てができる環境の充実を図り、美郷町の子育てのしやすさなどの環境のPRにつながり、町計画の基本施策である「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」まちづくりの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・遊戯エリアや子育て相談のできる部屋、情報提供コーナーや会議・研修等にも活用できるフレキシブルエリアなどを配置するとともに、施設内のWi-Fiの整備、マイナンバーカードを活用した入館システム、キャッシュレス決済に対応した料金領収システムの導入などを行い、子育て世代が安心して楽しく子育てができる環境の充実を図る。 ・SNSによる情報発信等で子育て世代に対し子育てしやすい環境をアピールする。		 
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 建築工事費 11,822千円（対象外） 工事監理費 713千円 ・効果促進事業（ハード事業） 外構工事費 57,382千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数（+33世帯） ②本施設利用者数（+45,000人） ③本施設利用に満足と答えた人の割合（100%） ④子育て支援アプリの登録者数（+330人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方 策への反映が記載され ているURL https://www.town.misato.akita.jp/archive/contents-5039